



富山市長 藤井裕久

No.12 「宇宙船地球号は何処へ行くのか？」

富山青年会議所の環境教育委員会で活動をしているところに、米国の建築家バックミンスター・フラーが提唱したといわれる「宇宙船地球号=Spaceship Earth」という言葉に出会った。地球は宇宙船、乗組員は人類、まさに地球と人類は運命共同体であり、地球を破壊しては元も子もないということであろう。

人類の活動が宇宙船地球号に与えるダメージにはどんなものがあるのだろうか。例えば、人口爆発、環境汚染、化石燃料依存による地球温暖化、天然資源の枯渇、核戦争なども大きな脅威であろう。18世紀半ばに起こった産業革命以降、人類は石炭や石油をはじめとする多くの天然資源を地球から搾取し、地球にダメージを与え続けながら経済発展を遂げてきた。その結果、地球が持つ「自然の回復力」はもはや限界に達し、悲鳴を上げ続けているのである。

また、同じ頃に出会った池田香代子氏の著書「世界がもし100人の村だったら」(元は米国の環境科学者ドネラ・メドウズの小文「村の現状報告」1990年)は、自分にとって、世界が直面する問題に、より大きな関心を持つきっかけになった。内容は、人類の現状を人種・教育・食料・宗教・経済・エネルギー・政治などを題材に、その違いに関する比率を、世界の人口を分母100人に

置き換えたもので表し、世界の格差や諸問題を提起した短編である。一例を紹介すれば、「都市に住む51人が75%の石油や石炭や天然ガスを使い80%の温室効果ガスを出しています」「子どもは28人です。そのうち4人は働いています。12人は小学校に行っていません2015年子どもは26人になります」(池田氏著書「世界がもし100人の村だったら完結編」から引用)といった具合に、世界の現状を身近にイメージしやすい表現になっている。機会があれば一読いただきたい。

ところで、今年の2月24日にロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まった。以来、私たちは、毎日のようにテレビや新聞・インターネット等を介して、その惨劇を目の当たりにしている。日本においては、1945年8月に終戦を迎え、多くの若い兵士や民間人が犠牲になり、富山市も大空襲により市街地の99.5%が焦土と化し、被災者約11万人、死者2,700人以上という大被害を受けた。つい77年前のことであり、決して忘れてはならない真実である。

まさに今、世界各国が協調してウクライナ支援とロシアへの圧力による戦争終結に向けた努力をしている。私たち一人一人の力は小さいかもしれないが、「宇宙船地球号の一員」として、今こそ戦地へ心を寄せ、ウクライナへの支援と世界平和に対する取り組みをしようではないか。



宇宙から見た地球

今月の 広報クイズ

市内の宿泊施設で使える10,000円分の宿泊割引クーポンを発行する「富山に泊まって〇〇〇〇〇キャンペーン」が始まります。

〇に入る文字は？

答「〇〇〇〇〇〇」

はがきかEメールで、答と郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先(電話番号かメールアドレス)と「広報クイズ応募」と書いて、広報課(〒930-8510 新桜町7-38)へ(1人1通)。
広報とやまに対する意見・感想もお待ちしております。

締め切り▶5月18日(水)(必着) [E]kouhou-01@city.toyama.lg.jp

賞品▶500円分の図書カード(抽選で5人)

当選発表▶賞品の発送で代えさせていただきます。

前月の答え シニア

前月の応募総数 379件(正解数379件)



とやま情報局

今月の
放送日 5月29日(日)11:45~

放送局 KNB北日本放送(1ch)

テーマ「公共交通で楽しい暮らし」

JR高山本線の各駅から富山駅までの日中の運賃が100円になる「高山本線シニアおでかけきっぷ」、アプリを使った富山地方鉄道のデジタルチケットなど、おでかけがもっと楽しくなる公共交通の使い方をご紹介します。

▶市ホームページ(まちづくり・市政)⇒インフォメーション⇒とやま情報局

富山市の人口・世帯数(対前月比)【令和4年3月31日現在】人口…410,214人(-354人) 世帯…182,725世帯(+549世帯)